

# 平成19年度6月補正予算のポイント

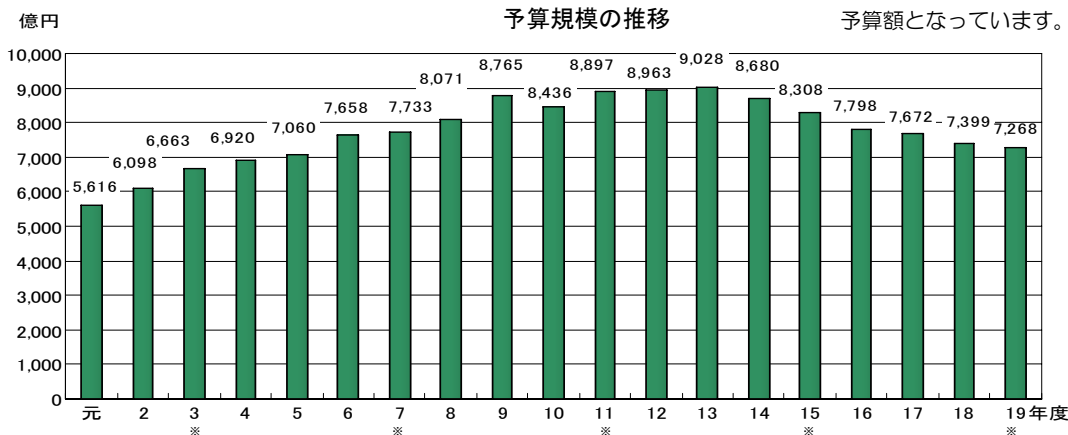
## 「危機を希望に変える戦略」の第一歩となる 肉付け予算として編成

### 予算編成の基本的な考え方

- 直面している諸課題の解決や生活の向上、安心して暮らせる環境の整備など「危機を希望に変える戦略」に取り組む事業について、厳しい財政状況の中、積極的に予算化。
- 公共事業等についても、地域の経済状況に最大限配慮しつつ、産業振興等に資する社会資本整備についてプライマリーバランスの均衡の範囲内で可能な限り計上。

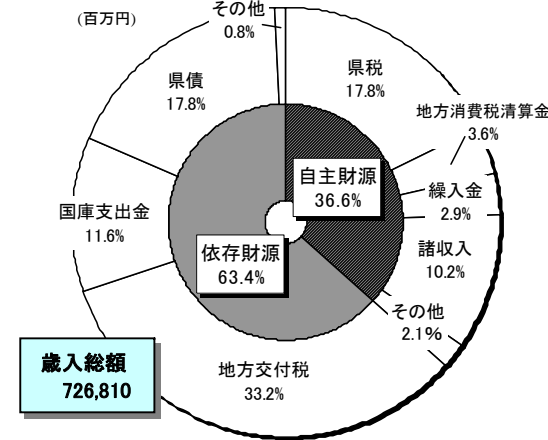
### 予算の規模

H19			H18	増減額	増減率
当初予算	6月補正	6月現計	当初予算		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%
696,537	30,273	726,810	739,862	△13,052	△1.8



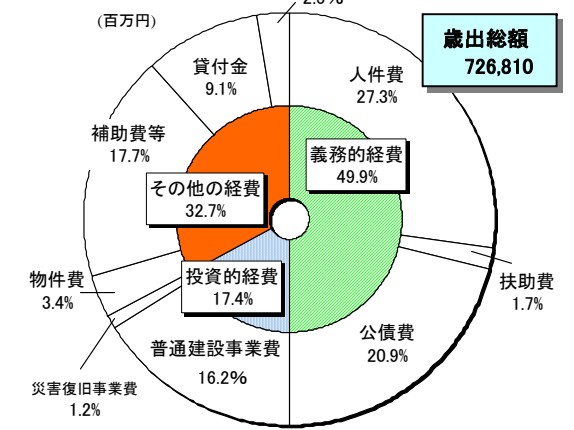
※の年度は、当初予算が骨格予算のため6月現計予算額となっています。

### 歳入の状況



- 6月補正の財源として確保していた一般財源(地方交付税)を増額。
- プライマリーバランス均衡の範囲で、公共事業等に充てる県債を追加発行。

### 歳出の状況



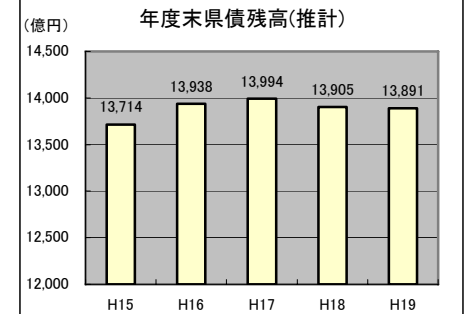
- 直面している諸課題の解決や生活の向上、安心して暮らせる環境の整備など、政策的な事業に要する経費を追加。
- 産業振興や安全安心な暮らしにつながる公共事業などの投資的経費を積極的に計上。

### プライマリーバランスの推移

H15	H16	H17	H18	H19
△418	△190	△37	52	(当初予算 116) 6月現計 14

(億円)

- ※1 各年度のプライマリーバランスは、最終予算ベースで計算。
- ※2 償還時に県民の負担にならない借入金については、プライマリーバランスの計算及び県債残高から除いています。  
また、県債残高は、H18からH19への繰越しと同程度(68億円)がH19からH20にも繰り越されるものとして推計しています。



# 今後の政策推進の基本方向と6月補正予算で強化する政策

## 基本的な考え方

### 本県を取り巻く危機

- ・ 依然として厳しい雇用環境
- ・ 医療資源の地域偏在
- ・ 県財政の逼迫 など

### 危機を希望に変える戦略と政策の着実な実行

先人たちが育んできた「岩手の心」を受け継ぎ、県民一人ひとりの危機を乗り越える勇気と行動力を結集し、グローバル化に対応した改革を推進

### 県民生活の向上

県民の「雇用と所得」が確保されるとともに、医療・福祉、教育などの「県民サービス」がしっかりと提供される地域社会の構築

## 基本戦略

### I 新地域主義戦略

#### 4 広域振興圏の確立

4 広域振興圏を本県の将来を切り開いていく地域に位置付け、行政と民間やNPOなどの連携のもとで、地域の個性や創造性を重視しながら、真に自立した地方自治を確立します。

#### 【6月補正予算に計上した主な取組み】

4 広域振興圏のそれぞれの地域資源を生かした産業振興に向けた取組みを展開するとともに、特に、県北・沿岸圏域の振興に向けた取組みを強化します。

#### ゆとりと豊かさのあるコミュニティの創出

県と市町村が対等なパートナーとして、ゆとりと豊かさのあるコミュニティを創出し、それぞれの地域に根ざした生活の結び付きなどの優れた特性を将来にわたって守っていきます。

#### 【6月補正予算に計上した主な取組み】

市町村や大学などと協働し、次世代のリーダー育成をはじめとしたコミュニティの再生に向けた取組みを展開します。

### II 岩手ソフトパワー戦略

#### 「平泉」をはじめとした文化や芸術の振興

「平泉」に代表される世界に誇る歴史的文化のほか、県内各地で展開されている伝統芸能をはじめとした文化・芸術活動の振興・支援を図ります。

#### 【6月補正予算に計上した主な取組み】

「平泉文化遺産」の世界遺産登録の実現に向けた条件整備や県民の文化芸術活動への支援を強化するとともに、「文化芸術振興基本条例（仮称）」の制定に向けた検討を進めます。

#### 「岩手ブランド力」の積極的な展開

先人たちが育んできた「岩手の心」を受け継ぎ、これをさまざまな分野で「岩手のブランド力」として発展させ、国内外へと積極的に発信することで、本県の文化的価値や道義的な信頼を高めていきます。

#### 【6月補正予算に計上した主な取組み】

戦略的な広報活動により岩手の魅力を国内外へ強力に発信するとともに、定住促進に向けた取組みや東アジアをはじめとした諸外国との積極的な交流を展開します。

## 補正予算で強化する政策

### 1 教育・人づくり

#### ◆ 「いわて型コミュニティ・スクール」の推進

学校と地域が連携して教育に取り組む開放的で個性的な学校（コミュニティ・スクール）づくりを推進します。

#### ◆ 産業人材の育成

地域の産業振興に必要な人材を企業・学校・行政がネットワークを形成し、一体的に育成します。

### 2 医療・福祉の充実

#### ◆ 医師確保対策の強力な推進

即戦力医師の招聘や岩手医科大学の定員増に対応した教育環境整備に対する支援など、医師確保対策の充実・強化を図ります。

#### ◆ 子育てサポート体制の強化

地域における子育て世帯の見守りや企業の子育て支援サービスなど、社会全体で子育てを支援する体制を構築します。

### 3 農林水産業の振興

#### ◆ 環境と共生する産地づくりの促進

消費者や市場のニーズに対応した安全・安心で高品質な農林水産物の生産拡大を促進します。

#### ◆ 東アジアを中心とした戦略的な輸出の展開

東アジアを中心に海外で需要の高い米やナマコなどをはじめとした農林水産物の輸出を戦略的に促進します。

### 4 産業経済・観光の振興

#### ◆ ものづくり産業の集積促進

半導体関連産業の集積促進を進めるとともに、新たなファンドの創設などにより、県内産業の育成を図ります。

#### ◆ 平泉を核とした観光客の受入れ体制の整備

国内外からの観光客の受入れ体制の整備を進めるとともに、県内全域への回遊に向けたさまざまな施策を展開します。

### 5 環境の保全・創造

#### ◆ 地球温暖化対策の推進

地球温暖化に対する県民の関心を継続的な行動へ結び付ける多様な施策を実施し、地域の主体的な取組みの展開を図ります。

#### ◆ 環境教育の推進

県民、事業者、行政が相互に連携し、家庭、学校、職場などにおいて、県民一人ひとりが環境に配慮した行動ができるような環境教育を推進します。

### 6 防災・安全対策の強化

#### ◆ 地域防災力の強化

県の災害対応力の向上や地域住民による自主防災組織の強化に向けた取組みを推進し、宮城県沖地震の発生などに備えた地域防災力の強化を図ります。

#### ◆ 治安対策の推進

「安全で安心して暮らせる地域社会」の実現に向け、少年非行防止対策や警察の活動基盤の充実・強化を図ります。